

2021 夏～秋 コロナ禍の山 (個人山行)

(報告) 赤澤 東洋

年初から緊急事態宣言が発令され外出自粛せざるを得なくなった 2021 年、宣言解除を受けて夏から秋へかけ登ってきた山行の幾つかを報告します。

1. ヒメサユリ咲く大朝日岳 (1870m)

◎期日:7月15日～16日 ◎メンバー:単独



(アキアカネが乱舞する大朝日岳への登り)

登り残した山、登りそびれた山、数ある中で東北地方で一番気になっていたのがこの山だ。朝日連峰西の果て以東岳 (1772m) には登った事はあるものの、何といっても連峰の主峰は大朝日岳、ここを知らずに朝日岳は語れないとラストチャンスに賭けてみた。

15日は移動日。余裕を見て8時半自宅出発、一路宿泊予定の古寺鉱泉跡を目指したが、高速道・山形自動車道寒河江 IC を出て左沢経由大江・西川線を辿り山道に入ると交通止めとなっていて焦る。途中の集落へ戻り聞いてみると崖崩れでもう1年以上前から通行止めという。あっちゃー！！ともあれここで諦めるわけにはいかないので、左沢に戻り朝日町の朝日鉱泉経由で16時過ぎ古寺鉱泉跡に漸く到着。自宅から440km、約7時間半、ヤレヤレだった。

鉱泉の朝陽館は泊ってみたかったが、残念ながら2年前に閉館となり、今は駐車場が整備され簡易トイレ4基の先に「大江町朝日連峰古寺案内センター」なる立派な施設が建っている。宿泊も可能との事だが今日は懐具合と相談して車中泊だ。他に土浦、岩手、宮城ナンバーの車が停まっていた。

16日3:50起床。晴れ。4:35出発。古寺川の橋を渡り閉館された鉱泉宿・朝陽館左裏から尾根に取りつく。最初はブナ林の緑の中緩やかな上りだが展望は効かず、ただ黙々と足を運ぶだけ。道幅広く岩場もない歩き易い登山道だ。やがて一服清水となりホッと一息、この水は冷たく美味しくペットボトルに補給する。

一服清水からは急登が続いて喘ぎ喘ぎ登る。キツイ。途中の三沢清水はチョロチョロ水であまり美味しくない。

次第にお目当てのヒメサユリが顔を見せてくれるようになり展望も開けてきて「よっしゃー！」と気合が入る。

7:45 古寺山 (1501m) 到着。コースタイムより40分遅れはまあしょうがない。西にこれから向かう朝日連峰の大パノラマが広がり、振り返る北方には裾野を広げる月山が聳え立ち東北の山の奥深さが窺えてしばし見入る。



(古寺山)

行く手に聳える小朝日岳は急登を恐れ体力的に自信持てずパスすることにし山腹を巻く。小朝日岳からの稜線に出ると、そこからは左右にヒメサユリ咲く快適な尾根道だ。ヒメサユリは浅草岳が有名だが、数からいうと断然こちらの方が多い。連峰随一の銘水とうたわれる銀玉水で喉を潤し、一登りすると大朝日小屋が目の前で主稜線縦走路にはヒナウスユキソウ、ハクサンフウロに目を奪われ、色鮮やかなミヤマリンドウも捨てがたく改めて東北の山の花の良さに感じ入るのだった。



(ヒメサユリ)



(ミヤマリンドウ)

11:05 アキアカネ乱舞する大朝日岳山頂着。登山口から6時間半、小朝日岳をパスしてこのタイムではかかり過ぎで情けない限りだが、好天に恵まれ積年の宿題果たして大満足なのでありました。

日本100名山という事もあり、それなりの人出で熊本ナンバーの69歳男性は5日かけて山形県に入り、これから鳥海山、月山、安達太良、磐梯、飯豊と回るとの由、せっかく来たのだもの総ナメはまあ当然でしょう。



(アキアカネ舞う大朝日岳山頂)

《コースタイム》

古寺鉱泉登山口 4.35→6.15→一服清水 6.25→7.45 古寺山 8.00→10.00 銀玉水 10.10→11.05
大朝日岳 11.15→13.30 古寺山 13.35→14.25 一服清水 14.30→15.35 古寺鉱泉登山口下山
標高差: 1240m 所要時間: 上り 6時間30分 下り 4時間20分

■追記：もうくたびれ果てて車の運転出来そうもなく西川町・大井沢湯ったり館>で温泉に浸かり、ビールを飲んで道の駅で車中泊、翌朝早く帰路に着いた。

2-1. 富士山周辺の山 長者ヶ岳 (1336m) & 天子ヶ岳 (1330m)

◎期日：10月27日（水） ◎メンバー：赤澤他1名（妻）



（長者ヶ岳頂上より富士山と田貫湖の眺望）

静岡県富士市は《全国有数の紙のまち》がキャッチフレーズ。紙・パルプ製造周辺機器を扱うわが勤務先には重要拠点、点在する沢山の得意先を回るに車は必携、マイカー出張が多かった。東名高速道経由と共に中央道・河口湖線経由も多く、仕事を済ませ富士宮から国道139号線を朝霧高原に向かうと左手に大きな山容の毛無山（1945m）とそれに連なる2つの頂きが見えてきて、ずっと気になっていた天子山塊だった。

登山口の田貫湖は毎年4月24日頃ダイヤモンド富士が見られる事で写真愛好家に知られる有名な富士山撮影スポット、90年代中頃2度ばかり早朝撮影に挑んだ事がありロクな写真は撮れなかったが懐かしの場所だ。

登山道は途中まで東海自然歩道と重なっており丸太や角材で階段状によく整備されている。左手は檜の植林帯で暗いが、右手はナラ、クヌギ、ブナ等の自然林で明るくて、この対比の際立が面白いが、展望が効かないのが難点だ。登山口から2時間超で長者ヶ岳山頂到着。眼下に田貫湖が見えるも富士山はガスの中、天子ヶ岳ならどうかと足を延ばすも変わらずで今日はダメな日かと諦める。

が、長者ヶ岳へ戻り視線をあげるとなんとそこには高く大きな富士山が！！積雪は少ないが見えると見えないでは大違い、2人思わずニンマリする。登りそびれていた山2座を手中にし、正に終り良ければ全てよし、満足の1日でありました。

《コースタイム》

田貫湖登山口 8.20→10.40 長者ヶ岳 10.55→11.40 天子ヶ岳 11.50→12.40 長者ヶ岳 12.50→13.55 登山口下山

標高差：610m 所要時間：5時間35分



(諦めていた富士山が見えました！ 帰路の長者ヶ岳から)

2-2 富士山周辺の山 御正体山 (1682m)

◎期日：11月16日(火)

◎メンバー：赤澤他1名(妻)



(御正体山頂上)

ミツ峠から望むと南面の富士山があまりにもデカすぎて、他の山は目に入らないが、敢えて探せば背は低いものの東に大きな山容を見せて鎮座ましますのが御正体山だ。

富士山の半分にも達しない高さだが、何か存在感があり富士山周辺で気になっていた山の一つ、天子山塊を済ませた勢い褪せぬ間にと出かける事にした。

中央高速道の途中真っ白く雪化粧した富士山が見え期待したのだが、その後天気は後退するばかり、どうも今日は外れたみたいだ。都留 IC 出口から 20 分程で登山口の三輪神社前に出た。古びて寂しい限りの神社。神社入口から舗装された林道を行くとじきに凸凹ある荒れた砂利道と変わり 4 駆が欲しくな

る。ギリギリまで進んで方向転換出来なくなつてはヤバイので右手の伐採跡地に車を停める。

8:45 出発。歩き始めて数分でゲートがあり一般車通行止めとなっていたが、なんとその先は立派な舗装道路となっている。手元の資料では仏ヶ沢を横切り薄暗い植林帯を登っていくとあるが、道標もない。工事車も行き交う舗装道路、方向的には間違いないのでそのままテレテレ登って行くと三叉路となり、「御正体山はこちら」という小さな標識に導かれ右に折れる。登山道はすぐ左手にあり繁茂するススキに覆われ標識もなく分かり難かった。標高 1070m、この林道の出現は予想もせず驚くばかりだった。

ここから先はいよいよ本格的な尾根上の登山道となり、ブナやミズナラ等の枯葉を踏みしめながらトラロープ垂れ下がる急坂を一本調子に只ひたすら登るだけとなる。樹林帯の中、展望はなく幾たびとなく立ち止り膝に手をつけ「ハア ハア!」「ぜー ぜー」と息をつぐ。ここ数年はいつもこんな風で、後ろの相棒はもう慣れっこになっており「水を飲めば」と言うだけ。急登の上りは相棒の方が断然強く、自称「山や」も形無しだ。

いい加減イヤになった頃漸く標識が見えてきてホッとす。三叉路で「鹿留（池の平）1 時間 50 分」「御正体山 35 分」「細野（三輪神社）1 時間 20 分」とあり、丁度単独行の男性が鹿留の方から登ってきた。事前の調査不足で知らなかったのだが、池の平からだ途中の展望が格段に良いようで、マイカー利用者にはこちらの方がお勧めらしい。やっぱり来てみないと分からないものだ。

標識の先すぐに峰宮跡に出たが、ここから富士山がよく見えるとの事だったが、生憎のガスで何も見えずガッカリだった。すこし下ってアップダウンするとじきに御正体山の広い頂上となり設置されたテーブルで 4 人組が食事していた。樹林が繁茂し展望のない頂上に「登ったぞ!」という感興をもよおすすべもなく、ご褒美の展望もナシとあって、何とも締まらず何か中途半端である。まあこれも来てみて初めて分かる事、取りあえずは脚トレにはなったことでもあるし、登れただけでもヨシとしよう。もやもやした気分で下山にかかった。

《コースタイム》

三輪神社・林道登山口 8.45→9.55 三叉路 10.00→11.45 鹿留分岐 11.50→12.30 御正体山 12.45
→13.10 鹿留分岐 13.10→13.55 三叉路 13.55→14.30 登山口下山
標高差：930m 所要時間：上り 3 時間 45 分 下り 1 時間 45 分

3. スキーブームのメッカ 苗場スキー場・筍山 (1789m)

- ◎期日 ①:6 月 2 日 (水) ◎メンバー：単独
②:9 月 28 日 (火) ◎メンバー：赤澤他 1 名 (妻)

最盛期の 1987 年、年間来場者数約 380 万人と言われ、それはディズニーランドの入場者数に匹敵し、以来スキーブームのメッカと称せられる苗場スキー場、西武が筍山を買い取って広大な山の東面を開発し世界に通用するスキー場としてオープンしたのが 1961 (昭和 36) 年だった。

小生がスキー仲間と西武が売り出した浅貝分譲地を購入したのが 1972 (昭和 47) 年の事で、小屋に何とか住めるようになったのが 1974 (昭和 49) 年暮れ、以来数えきれない程通った苗場スキー場、リフトで筍山頂上まで行けるようになると列を作って我先にとリフト順番を待ったものだった。というわけで、筍山の頂上には何回となく足を運んでいるのだが、積雪期のみ、登山の対象として考えた事などなかったのだが、今年 4 月初めに平標山から見た筍山が結構格好よく見えて行ってみる気になった。



(浅貝集落より望む筍山全景)



(筍山山頂。左手ルンゼが根曲がり竹の登山道)

6月初め単独で挑み登山口を探してみるが私有地に付関係者以外立ち入り禁止の看板にしばし躊躇する。高さはそこそこあるし、独立峰なので展望がいいのは冬の経験で実証済み、なのにガイドブックにも載ってないし、登山紀行もあまり目にしないのは私有地だったせいなのだ。山一つ買取ったというから文句は言えないのだが、こちらは西武分譲地の住人、まるっきり無関係ではないと言い訳考えて、プリンスホテル前に堂々と駐車、ゲレンデを一気に登り詰める事にした。

時期的にワラビの真盛り、採る人は誰もいないのか形好いワラビの群落に手が出そうになったが、ホテルの窓から丸見えなのでぐっところえる。季下に冠を正さずの心境。下から見上げるとなんか易しそうにみえても、ゲレンデを登るのは意外にくたびれ、標高差 830m はバカに出来ないものとしみじみ思う。頂上直下では根曲り竹の藪に入り込み、ここまで来ると誰も見てないのでレジ袋いっぱいの筍をゲットしご満悦、脚トレには最適なコースと確信した。

スキー場下部の以前ゴルフ場になっていたカラ松林には花イグチが採れると聞いていたので9月下旬カミさん誘って今度はキノコ採りを兼ねて再挑戦した。が、6月初めに登れたゲレンデは濃密なスキの藪に覆われていて入り込めず、雪上車用の林道を行くしかなく、これは想定外であった。



(シラネアオイ。後方は仙ノ倉山)



(スキが繁茂するゲレンデ)



(一瞬だけ顔を見せた平標山(左)と仙ノ倉山(右))

下山はキノコは諦めて少し違うルートから下り、山ブドウを収穫、果実酒に挑戦することにし、さらに補充する為苗場山登山口近くまで車で行き、2キロ程収穫した。

《コースタイム》

①6月2日

ホテル前 8.30→12.30 筍山 12.45→
14.20 ホテル前下山 5時間 50分

②9月28日

ホテル前 6.50→10.10 筍山 10.20→
12.20 ホテル前下山 5時間 30分

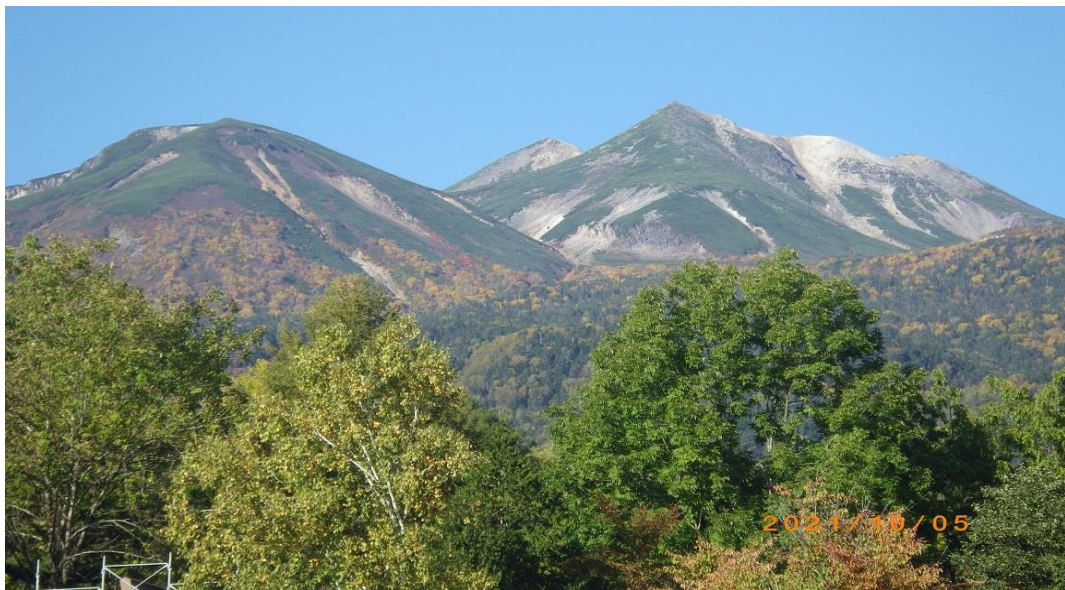


(収穫した山ブドウ約 2kg)

4. 車で行ける 3000m峰 北ア・乗鞍岳 (3026m)

◎期日：①7月20日(火) ◎メンバー：赤澤他1名(妻)

②10月05日(火) ◎メンバー：赤澤、古林、大塚



(バスセンターから望む乗鞍岳)

今夏は白馬岳を計画していたがコロナ禍で断念、手軽に行ける3千峰として乗鞍岳が浮上した。乗鞍は1991年7月にスキー仲間と3人で登り、ついでに大雪渓で夏スキーを愉しんだ事があり、2018年3月には藤野さんや中道さん達とスノーシューとアイゼンで登ったが、体調悪く肩の小屋で退却した苦い思い出がある。

7月は妻と二人、葦崎で途中下車し太刀岡山(1295m)に登り足慣らし、乗鞍高原の宿「ロッジふもと」に泊り白濁した温泉で英気を養った。91年当時の乗鞍スカイラインは有料道路で一般車両も豊平まで乗り入れる事が出来て大雪渓前に駐車も可能だったのだが2003年からマイカー乗り入れは禁止になっていて、観光センター前からシャトルバスに乗り替えた。

誰でも登れる気楽な山というだけあって、平日でもかなりの人で溢れていた。肩の小屋までは平坦な

遊歩道、小屋から先で登山道となって転石と砂礫の歩き難いが富士山に比べれば随分楽だ。標高差 330m、91 年は畳平から 1 時間だったが、今回は 1 時間半かかった。これなら我がロートル隊でも十分に登れそうと判断し、紅葉の 10 月に老友をお誘いしたのだが、体調考え途中退却となり温泉を楽しみ久闊を叙する旅となってしまったがそれも又ヨシというところ。

以下、乗鞍岳百景をどうぞ。

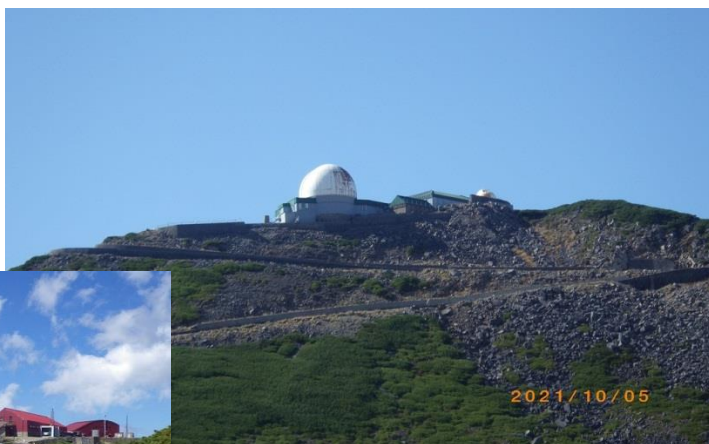


(下：乗鞍岳山頂)



(上：夏スキーで賑わう大雪渓)

(下：肩の小屋（手前）と
東宇宙線観測所（奥）)



(上：コロナ観測所)

(下：乗鞍岳山頂（左のピーク）)



★2021 年の山 総括

後期高齢者となって登り残した山、登りそびれた山の多さに愕然とした。残された時間はあまりにも少ない。せめて月 2 回、年 24 回の山行を心掛けようと誓い、この数年は何とかクリアしてきたが今年からは年初からコロナ緊急事態宣言発令で先が危ぶまれた。11 月 25 日現在で山行回数 20 回、うち初登が 11 座はまあまあか。

因みに今年の「初登の山」は以下の通りである。

吾妻連峰・西大巔、上州武尊山塊・雨乞山、同・獅子ヶ鼻山、苗場・筍山、古寺山、大朝日岳、太刀岡山、乗鞍連峰・富士見岳、長者ヶ岳、天子ヶ岳、御正体山。

(了)